

たかしゅう

キッズファミリー遠足

10月1日に「キッズファミリー遠足」で城北公園に行きました。1年生から6年生までみんなでオリエンテーリングをしてお弁当を食べて帰りました。高倉小学校は4月にキッズファミリー班という「たてわり班」を編成します。1年生から6年生まで数人ずつの構成で44班つくりました。6年生を中心にそのキッズファミリー班でさまざまな行事に取り組んでいます。行事ごとに児童会でめあてを決めており、今回は「みんなハッピー楽しもうぜ!!!」になりました。出発式の学校長挨拶の中で「6年生のハッピーと1年生のハッピーは中身がちがう」ことを話しました。6年生は「下級生がこの遠足を楽しんでいると感じられるために何をすればいいかを考えてリーダーシップを発揮すること」、5年生は「来年自分が最高学年になったときにどう振る舞うのか6年生の仕事をしっかり見て、何をしたら6年生が助かるか考えて



引率も6年生にお願いしました。

フォローすること」1年生～4年生は「ルールを守ってゲームを楽しむ。高学年のお兄さん、お姉さん

の言うことを守ること。どうすればみんなで楽しく活動できるかを考えて協力すること」を伝えました。6年生の感想の一部を紹介します。「1年生が、仲良く行き帰り手をつないで笑顔でしりとりをしていたから楽しかった。」「班のみんなが笑顔やったから。あと笑顔じゃない人もいたけれど

発行責任者 大阪市立高倉小学校長 阪口 篤

声を掛けたら笑ってくれたから。」5年生も「遠足は学年だけで行くけど全校遠足は学校全員で行くから低学年や高学年と回り話したりして仲が深まり、学校の中でも仲良くできるから。」とあり

【自分の努力でみんなが喜んでいる姿を見て嬉しいと思う力】がついたかなと感じました。その喜びは自分がゲームで勝てて楽しかったことよりも質的に上位の喜びです。1・2年生の感想には6年生のお姉さんお兄さんが大好きだと言っている子がたくさんいました。

城北公園の千人塚（9/29 朝会講話）

昭和20年6月7日。第三次大阪大空襲で城北公園付近に避難した人々を狙った米軍ムスタングP-51による機銃掃射は、空襲で焼け出された無抵抗の民間人を銃撃するという凄惨な無差別攻撃でした。木に隠れた女学生まで狙い撃たれました。城北公園には、多くの遺体が横たわり、人々は遺体をまたぎながら逃げたそうです。千人塚の碑文によると、身元がわからない千数百の遺体が現在の千人塚のある場所に集められ、市民の奉仕により疎開家屋の廃材を使って3日3晩にわたり遺体を荼毘に付しました。空には鬼が泣くようなすすまじい黒煙が柱のように立ち上ったと記されています。遺骨はそのまま土中に葬られました。犠牲となった無辜の国民の痛恨が忘れ去られることを憂いた東浦栄二郎氏が、庭石に「千人つか」と刻んでこの地に置きました。多くの方がこの塚の由来を知らないことを憂慮し、その経緯を記した碑文を建立しました。この地下に眠る霊の冥福を祈るとともに、国家の安泰、軍部や官僚の専横な政治による国民の塗炭の苦しみと犠牲が二度と繰り返されないよう、世界平和を祈願する日本国民の総意を世に問うものとしています。



千人塚に手を合わせる子どもたち

